

地方創生この指とまれ

近未来技術が拓く 田舎の未来

7/29(金)

16:00 ~ 17:30

角館交流センター
多目的ホール

昨年に引き続き今年度は近未来技術にテーマを絞り、秋田県内でもドローン産業に先進的に取り組んでいる東光鉄工株式会社から講師をお招きし、測量や農薬散布、空撮など様々な活用が期待できるドローンの可能性について基調講演を行います。

また、内閣府をはじめ、近未来技術の活用で活躍する方々をお迎えし、パネルディスカッションを開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。



基調講演

秋田産ドローン、その魅力と可能性について

鳥潟與明氏 東光鉄工株式会社 UAV 事業部シニアマネージャー

パネルディスカッション

コーディネーター 藤原豊氏 内閣府地方創生推進事務局審議官

パネリスト 中島宏氏 株式会社ディー・エヌ・エー執行役員オートモーティブ事業部長
牧浦土雅氏 Needs-One Co.,Ltd. 共同創業者 (TED 選出「世界の12人の若者」)
鳥潟與明氏 東光鉄工株式会社 UAV 事業部シニアマネージャー
門脇光浩 仙北市長

お申し込みは、電話、FAX、メールのいずれかで、代表者氏名、連絡先、参加人数をお知らせください。

申込・問合せ 仙北市長創生・総合戦略室 ☎ 43-3315 FAX 43-1300
E-mail sousei@city.semboku.akita.jp

入場無料
定員 200人

まちづくり 日記

No.103

『幸運の女神には前髪しかない』

仙北市長 門脇 光浩

毎日刻々、突然に想定外の事案が、市長室に持ち込まれる。市民の皆さんの困りごと、発注事業の進み具合の変化、突発的な災害や事件・事故、企業や他市との交渉ごとなど、その度に市長室は対策本部になる。と言つた、ここ数年は困難な事案が続発で、市長室の対策本部化が常態的になっている。

まずは現状確認から始める。職員からの聞き取り、時には当事者にお越しをいただきお話を伺う。その後は問題の整理、法律と整合するのか調査する。その上で、効果的な対策案の幾つかを関係者に要求する。そして最終的な対策手法を私が選択する。

これが基本形だ。現在の分庁舎方式で、スピードアップに最善を尽くす日が続く。庁舎は物理的な対処で改善が可能だが、職員の意識の持ち方について、さらなる訓練が必要だ。たまに問題整理の後の対策手法で「案が思いつかない。どうしたら良いものか」…、これでは困る。対策案がないままの改善行動はあり得ない。「市長、この案で行こう。そうではないと市民が安心できないぞ」と、そんな

熱い言葉が欲しい。

「こうなれば、もう一段高い要求ができる。」「分かった。対処法はそれで行こう。しかし将来はどうか。対応した結果、どう展開するのか予測が必要だ」…と、早くこのレベルに到達したい。目前の対策を通じて未来を予測する、先が読める職員が働く市役所をつくりたい。

この後も、仙北市にはピンチやチャンスが訪れる。多くのピンチの後に、必ず大きなチャンスがやって来る。ピンチに対応しているばかりで、大きなチャンスに気がつかないのは、市民にとっても、また仙北市にとっても不利だ。事実、今も複数のピンチに直面している。しかし、その後には必ず大きなチャンスが訪れる。いや既に訪れているのかも知れない…。

「幸運の女神には前髪しかない」のこゝろがある。「女神が通り過ぎた後に、あわてて掴もうとしても掴む髪がない。うかうかしていたらチャンスは通り過ぎる」の意味だ。うつついっていたら、その女神にさえ、気づくことができない。

かくのたてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

かくのたてフィルムコミッション
(仙北市観光課内) ☎ 43-3352
<http://kakunodate-fc.jp/>

フィルムコミッション(FCC)が映像を通じて地域を紹介する上で、エキストラの存在が欠かせません。

6月現在、かくのたてFCCのエキストラには150人以上の登録をいただいています。主婦、会社の社長、演劇経験者の他、市外の方で撮影が行われる度に出演いただいている方もいらっしゃるし、何度かエキストラの経験を積んで、堂に入った演技の方もいらっしゃいます。

撮影によって、求められるエキストラの人数も様々です。2013年8月に撮影した「みちのく麺食い記者 宮沢賢一郎3」(高嶋政宏さん主演)では、短時間で300人のエキストラを求められました。今日は50人、明日は30人…と、連日撮影スタッフと打ち合わせをしながら声を進めました。近隣のFCから



撮影待機中のエキストラの皆さん

も協力をいただきました。毎日がプレッシャーでしたが、今となっては良い思い出です。
この時は、ツイッターにも助けられました。田沢湖高原での撮影の時に人数が足りず、そのことを当日撮影スタッフの方に伝えようとしたところ「今日も集まりましたね」と言われて驚きました。エキストラの中に見知らぬ人が混じっていたのです。聞いてみると、前の夜遅くにツイッターで拡散された情報を見て、朝早く秋田市から参加したとのことでした。ツイッターの効果と、意外な使われ方に驚き、改めてSNSの力に感謝しました。
かくのたてFCCでは、エキストラ登録を随時行っています。関心のある方は、ご登録をお願いします。(会長 坂本 洋)